

「Ⅰ 総合判定の結果」の但し書きに対する改善報告についての  
審議結果

大学名：福岡大学薬学部

改善報告書提出日：2022年2月28日

本評価実施年度：2019年度

2022年6月28日

一般社団法人 薬学教育評価機構 総合評価評議会

※検討所見欄以外は提出された改善報告書のまま記載しています。

■但し書きへの対応について

改善すべき点（11, 12）

（1）改善すべき点が指摘された『中項目』

8. 成績評価・進級・学士課程修了認定

（2）指摘事項

1) 総合判定の結果の但し書き（評価報告書 p1）

ただし、卒業論文の成績評価が、卒業試験を実施する科目の評価の一部でなされており、また卒業延期者の卒業判定が実質的に当該科目の試験成績で行われているので、評価の厳格性に問題がある。

2) 改善すべき点（評価報告書p31）

11. 「総合薬学演習（含卒業試験）」の単位認定は、卒業論文30%、ヒューマニズム・コミュニケーション10%、卒業試験60%で行われているが、卒業論文の評価が国家試験対策を行う授業科目の一部として行われているので、改善すべきである。
12. 卒業延期者の卒業判定が事実上、「総合薬学演習（含卒業試験）」の試験の成績のみでなされているので、改善すべきである。

（3）本評価時の状況

11. 卒業論文の評価が、国家試験対策を行う授業科目「総合薬学演習（含卒業試験）」の中で実施されていた。
12. シラバスにおいて卒業延期者の卒業判定は、卒業論文30%、ヒューマニズム・コミュニケーション10%、卒業試験60%で実施すると記載されていたが、事実上、卒業判定は「総合薬学演習（含卒業試験）再クラス」の卒業試験の成績のみで実施していた。

（4）本評価後の改善状況

11. 令和2年度より、「総合薬学演習（含卒業試験）」のシラバスにおいては、成績評価からヒューマニズム・コミュニケーション及び卒業論文の評価項目を削除し、卒業試験の成績を100%として評価するよう変更した。なお、卒業論文およびヒューマニズム・コミュニケーションについては、新設した6年次科目「薬学研究Ⅱ」において評価している。変更の具体的な内容は、令和2年2月12日

開催の薬学部教授会(資料 6)において教授会構成員に周知した。

12. 令和 2 年度「総合薬学演習 (含卒業試験) 再クラス」のシラバスにおいては、成績評価からヒューマニズム・コミュニケーション及び卒業論文の評価項目を削除し、卒業試験の成績を 100%として評価するよう変更した。変更の具体的な内容は、令和 2 年 2 月 12 日開催の薬学部教授会(資料 6)において教授会構成員に周知した。

(5) 改善状況を示す根拠となる資料等 (以下に記述した資料は別添のとおり)

- ① 令和 2 年 2 月 12 日開催の第 12 回薬学部教授会(資料 6)にて周知
- ② 2020 年度 福岡大学薬学部シラバス (改善後)
  - ・ 薬学研究Ⅱ、p206-209
  - ・ 総合薬学演習 (含卒業試験)「再クラス」、p210-211
  - ・ 総合薬学演習 (含卒業試験)、p212-213
- ③ 2019 年度 福岡大学薬学部シラバス (改善前)
  - ・ 総合薬学演習 (含卒業試験)「再クラス」、p133-135
  - ・ 総合薬学演習 (含卒業試験)、p136-138

#### 検討所見

卒業論文の成績評価が、卒業試験を実施する科目の評価の一部としてなされており、また卒業延期者の卒業判定が実質的に当該科目の試験成績のみで行われていることは、評価の厳格性に問題があり、「但し書き」として早急に改善するよう求めた。

この指摘に対して、大学は上記(4)の対応をとり、卒業論文の成績評価(6年次「薬学研究Ⅱ」と卒業試験の評価(総合薬学演習)を「再クラス」も含めて分離し、総合薬学演習については卒業試験成績を 100%として評価するように変更してその旨をシラバスに記載した。

以上のことは上記(5)の根拠資料から確認できたので、指摘された問題点は改善されたものと判断する。